

リース契約仕様書

1 リース車両（以下「車両」という。）の仕様、賃貸借期間及び借入場所

分 類	小型特殊自動車（油圧ショベル）
メーカー・車種	クボタ ミニバックホー（新車）
型 式	U-30-6α HGY2FLTS
月間走行時間	13 時間
賃貸借期間	車両の引渡日の翌日から 96 か月（8 年間）
借入場所	広島県立総合技術研究所農業技術センター果樹研究部
借入場所の住所	東広島市安芸津町三津 2835

付属品、装備品及び車両の仕様の詳細については次のとおり

付属品・装備品 （新品とする）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標準バケット 1 台 ○ 狭幅バケット（幅 330<280>mm, 0.041 m³） 1 台 ※ < >の幅はサイドカッタ含まず。 ○ ツース盤（平爪 標準バケットの大きさに合ったもの） 1 式 ○ ツース盤（平爪 狭幅バケットの大きさに合ったもの） 1 式 ○ EC フォーク取付（KBL 製簡易的フォーククロー） 1 式
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2 柱キャノピーであること ○ ゴムクローラであること ○ リンクフック（1 t）取付であること ○ 操作部はパターン（縦、横旋回）の変更が可能であること ○ 車両登録を行うこと ○ 納車時の燃料残存量を満タンとすること。

2 契約内容等

(1) 契約内容

- ア 車両のリース（車両は新車とする。）
- イ 車両の特定自主検査等（以下「検査等」という。）（年 1 回）

(2) 検査等の内容

原則として検査等は、車両の保管場所において、受注者が指定する整備事業者に次のとおり実施させるものとする。

保管場所以外において検査等を実施する場合は、保管場所からの引取り及び保管場所への返却は受注者が指定する整備事業者等が行うこと。

ア 特定自主検査

法定の検査項目に従い実施すること。

イ 消耗品の交換

特定自主検査の際、必要に応じて次に挙げる消耗品の交換を行うこと。
 エンジンオイル、オイルエレメント、エアクリーナー、エンジンベルト
 減速機オイル及び作動油 等

ウ 注意事項

- (7) 検査等を行う場合は、可能な限り公務の支障とならないよう調整すること。
- (イ) 検査等終了後は、特定自主検査記録表及び検査済標章を速やかに提出すること。

(3) リース料に含まれるもの

- ア 車両本体、付属品及び装備品
- イ 車両（小型特殊自動車）の登録に要する費用
- ウ 自動車検査証記載事項の変更に要する費用
- エ 軽自動車税
- オ 自動車損害賠償責任保険料
- カ 検査等に係る費用（2（2）に該当する費用）

3 車両の引渡し

車両の引渡しは、受注者の負担で行うこと。引渡し日は、担当者と協議の上、決定すること。
引渡希望日は令和8年9月27日

4 事故処理

事故により、車両が損傷したときは、県は速やかに受注者に報告するとともに、県の負担により車両を修理するものとする。

5 車両の返還等

借入期間満了後は、速やかに車両を引き取ること。

ただし、車両の状態等により、県が借入期間満了後も引き続き車両のリースを希望する場合は、県及び受注者が協議のうえ、借入期間を延長することができる。

6 その他

- (1) リース会社の窓口、担当者、連絡網等を明確にすること。
- (2) 車両販売メーカーの責による、リコール等の不具合が発生した場合は、該当車両が安全に運行できる状態となるよう協力すること。
- (3) 中途解約（全損等）の場合の解約金は、未経過の公租公課・保険料・修理代・金利等を控除したものとする。
- (4) 借入期間満了時の残価精算は行わない。
- (5) 契約期間内における使用期間終了時において、車両の状態等により、広島県及び受注者が協議の上、使用期間を延長することができる。
- (6) 納車時に車両の操作方法及び日常点検について説明すること。
- (7) 本仕様書記載以外のことについては、発注者と協議の上、決定する。